

古希のお祝いのお礼

古希のお祝いありがとうございます。

人生の半分は腎不全治療にかかわってまいりましたが、果たして十分な技量、マネジメント、あるいはリーダーシップが発揮されただろうか、患者様や職員の皆様方に不安な気持ちを抱かせつつ、未だいたずらに塗中に尾を曳いているのではと反省しております。

奇しくも古希の前日はまゆう会将来構想委員会よりはまゆう会の今後について中間答申がなされました。“日昃(ヒカタムク)の離(リ)なり、缶(ホトギ)を鼓(ウ)ちて歌わざれば、大耋(ダイテツ)の嗟(ナゲキ)あらん。凶なり。”との易経の辞が衰えゆく耳に強く響きますが、今しばらく頑張ってみます。有難うございました。

平成 22 年 1 月 19 日

理事長 市丸 喜一郎